



聖日礼拝プログラム

今週のみことは

司会者	中西廣義兄	奏楽者	渡邊頼子師
讃美	新393	献げまつりし	ー
主の祈り			
讃美	新249	貧しくあれども	ー
交読	詩篇	37:1~24	ー
祈	禱		司会者
報	告		司会者
聖	書	マルコ12:41~44	司会者
説	教	「小さなささげ物」	渡邊貞雄師
献	金	新315	主の御手に頼る日は
頌	栄	新63	父、御子、御霊の
祝	禱		(起立)一同 渡邊貞雄師

「この人は乏しい中から、持っているすべてを投げ入れたのですから。」
マルコ二・四四

受 = 中川兄 / 操 = 小坂姉 / A = 福田姉 / 報 = 牧師

〒515-0044 三重県松阪市久保町 1445-7 COG 松阪キリスト教会
TEL 0598 (29) 1780 主任牧師 渡邊貞雄
FAX 0598 (29) 1791 牧師 渡邊頼子



2024年2月25日 VOL48-08 No. 2469

URL <http://matukyo.com>
Email sadao@mctv.ne.jp

ご報告・消息欄

- ▼ 本日の礼拝の後に、2023年の松阪教会の「教会総会」を開きます。簡潔に進められます。感謝をもっておかわり下さい。会場のテーブルのセッティングにもご協力下さい。
- ▼ 3月の「教会奉仕者表」が出来ています。ローテーションの変更もありますが、ご協力とご理解をいただき、年度のよきしめくりをいたしましょう。
- ▼ 今年の受難週は、3月24日~30日ですが上京週となるため、聖餐式は3月

17(日)の礼拝の中で行う予定です。

- ▼ 今年のイースターは、31日(日)となっています。当日はイースター記念礼拝を予定しています。
- ▼ 「COGよき道ニュース版」2月号(N.011)が届きました。群の情報誌としてぜひご覧ください、お祈りください。



にれ はみ

2024年2月18日
聖日礼拝
マルコ10:46~52
「バルティマイの叫び」
説教 渡邊貞雄 師



主と弟子たちは、エリコの町の入口で物乞いをする盲人に出会った。多くの群衆もエルサレムを目指して都上りをしている最中であった(46)。

I、道端に座すバルティマイ

この人はバルティマイという乞食で道端に座り、物乞いをし日々誰かの手を借りて生活する毎日だった(46)。道は本来、人が座る所ではない。「道端」とあるので、人生の脇道、社会の隅っこに座す光景とも想像される。

このようにバルティマイは、肩身の狭い思いで人生を仕方なく生きて嘆いたのではないだろうか。聖書には「闇と死の影に住んでいる者たちを照らした」(ルカ1:79)とあるが、このような道端に座っている人にも、希望の光を与えるために、主はこの世に來られた。

II、叫び出すバルティマイ

彼はイエスの名を耳にした途端、「ダビデの子イエス様、私をあわれんでください」と、叫び出した(47)。人々はこの場違いな声を出す者を「黙らせようとたしなめた」とある(48)。しかし制止すればするほど、彼は「ますます叫んだ」(48)とある。

この叫び声に「立ち止まって」一番

素早く反応されたのは、主イエスでした。そして「あの人を呼んできなさい」と命じられた(49)。バルティマイは雑踏で「ナザレのイエス」「あわれんでください」と素早く反応し、イエス様もこの人に素早く反応された。

III、信仰に立つバルティマイ

声を掛けられたバルティマイは、古い「上着を脱ぎ捨て、踊り上がってイエスのところに来た」(50)。主が「何をしてほしいのか」と尋ねると、彼は「目が見えるようにしてください」と即答した(52)。

その後、主イエスは「さあ、行きなさい」と語られ、主の後についていく生涯が始まった(52)。これは彼の信仰である。自分の頑張りや覚悟ではない。「信仰」とは「神に対する信頼、神のことばに対する信頼」である。

パウロは「人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです」(ローマ10:10)と説いた。彼の「叫び」は、信仰による祈りの「叫び」でもあったと言える。

バルティマイは主が十字架に進む最後の旅で出会い救われた。なんと主のあわれみは「朝ごとに新しい」ことか。
(哀歌3:23)

ネガティブを力にする言葉集

リモラボ



「ネガティブ思考になった時はこう変換するにせ！」

- ① 失敗した... → 経験が増えた
- ② 難しい... → 成長できるチャンス
- ③ 疲れた... → よく頑張った証拠
- ④ わからない... → 新しいことを学ぶ
- ⑤ 何もできなかった... → よく休んだ
- ⑥ 自分は全然だ... → 伸び代がある
- ⑦ 間違えた... → 次はもっとうまくできる
- ⑧ 不安だ... → 自分の感情に気づけた
- ⑨ 孤独だ... → 自分と向き合う時間
- ⑩ 忙しい... → 求められている証
- ⑪ 失った... → 新しい何かを得る余地
- ⑫ 退屈... → 創造性を発揮する時間
- ⑬ 限界だ... → 自分の限界を知れた

変換を癖付けると自然にできるようになるにせ！ぜひ試してみてにせ！

◎2/21 (水) 祈禱会Iサム3:9、10

渡邊師「神に聞く耳を持つ」

ここは幼いサムエルが、預言者となる大切な経験をした箇所。祈りは一方的で請願的なことが多い。しかしサムエルは、①先ずエリの言葉に聞き(9)、②神に聞くことを知った(10)。

「しもべは聞いております。」と神の前に出る時、神は苦しみや恐れを心から消去し、単純なことには、騙されたり裏

切られない心が備えられる。彼は「ダンからベエルシバまで」(3:20)預言者となったとある。いつも心をフラットにし真っさらになると、神の声が優先して響いてくる。私たちも神の声に、最優先で耳を傾ける者と成長しよう。



「今後の集会予定／教会情報」

- ◎2/28(水) 祈禱会 (ZOOM) (PM7:00)
- ◎3/2(土) 清掃奉仕 (AM9:30)
- ◎3/3(日) 楽しい組会 (AM10:00)
- ◎3/3(日) 聖日礼拝 (AM11:00)

◆ 祈禱会 (司) 中川兄 (説) 頼子師

● 来週礼拝 マルコ14:1~11

● 主 題 「ナルドの香油」

定期集会のご案内

- ◇ 楽しい組会 (日) 午前10:00~10:45
- ◇ 聖日礼拝 (日) 午前11:00~12:00
- ◇ 早天祈禱会 (火土) 朝6:30~7:00
- ◇ 祈 禱 会 (水) 午後7:00~8:15

来週 の 奉 仕 者

- ◎ 礼 拝 司 会 中川 兄
- ◎ 礼 拝 奏 楽 頼子 師
- ◎ 礼 拝 献 金 福田 姉
- ◎ 受 付 小坂 姉
- ▽ 教 会 学 校 随 時
- ▽ ヤ ン グ 随 時
- ▽ さー来る① 当 日
- ▽ さー来る② 当 日
- ▽ さー来る③ 当 日
- ▽ 昼 食 当 番 な し
- ▽ ア ッ シ ャ ー 中 西 兄
- ▽ S S 入 力 中 川 兄
- ▽ P P T 操 作 幸 子 姉

《《《2024年 松阪教会スローガン 「新しいぶどう酒を心に!」》》》
「新しいぶどう酒は新しい皮袋に入れます。…両方とも保てます。」マタイ9:17

礼拝の心得

- ① 聖書のヨハネ4:24に「神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって礼拝しなければなりません。」とあります。
- ② 始まる時間と5分前の着席を心がけ、奏楽や賛美を聞きながら心の準備をし、待ち望みましょう。
- ③ 賛美は感謝の心をもって、主をたたえつつ歌いましょう。
- ④ 語られる言葉(メッセージ)の背後にある、神のことばに耳を傾けましょう。
- ⑤ 献金は神への感謝を具体的に表現するものです。心から喜んでおささげしましょう。
- ⑥ その他、携帯音を止めておいたり足音や会話にも心を用いて出席しましょう。
- ⑦ やむを得ず礼拝を休む場合は、牧師(教会)に連絡をしましょう。



不満が多くて
グチばいになら
気付いたら、
と私は自分自身を
変えようよ
合回なんだよ。

